

【Chim↑Pomメンバー、卯城竜太氏らが調査選考委員を務める『社会彫刻家基金』】 「社会彫刻家」を紹介する書籍『へそ』を出版！記念イベントを開催 ※イベントレポート

～ これからの社会を考えるきっかけに～

株式会社MotionGallery

🕒 2022年8月9日 13時32分

2022年6月10日(金)、社会彫刻家基金は「kudan house」(東京都千代田区)にて、書籍『へそ』の発売にあわせた出版記念イベントを開催した。当日は、会話や飲み物を楽しみながら書籍『へそ』を手にとることができる「SS Lounge(社会彫刻家ラウンジ)」と、「社会彫刻家アワード2021」の受賞者によるトークセッションが行われた。



イベントの様子

今回「社会彫刻家アワード2021」を受賞したのは、オルタナティブスペースコア、ボーダレスアートスペース H AP、マユキキの三組。「社会彫刻家」とは、アートを触媒に社会に変化を創り出すアーティストのこと。書籍『へそ』は「社会彫刻家」という考え方とその実践を伝えるメディアとして、MOTION GALLERYのクラウドファンディングで出版資金を募り(<https://motion-gallery.net/projects/socialsculptor2021>)、2022年6月5日に発行された。「社会彫刻家アワード2021」の受賞者三組への取材や、調査選考委員である飯田志保子氏、Chim↑Pom from Smappa!Groupメンバーの卯城竜太氏、ヴィヴィアン佐藤氏の三名による選考プロセスなどを振り返った鼎談、関連するテーマへの論考などがまとめられている。<https://socialsculptor.tokyo/award2021>

トークセッションは、この受賞者三組を迎え、社会彫刻家基金運営事務局・林暁甫さんのファシリテーションで行われた。セッションの前半は、書籍『へそ』の取材後の活動や地域で「アート」に携わる人間ならではの苦労などをそれぞれが紹介。後半は受賞の舞台裏なども語られ、大いに盛り上がった。

株式会社MotionGallery

🔔 フォロー

フォローするとどうなる？

12 フォロワー

URL <https://motion-gallery.net/>

業種 情報通信

本社所在地 東京都港区南青山3-13
MIDORI.so2

電話番号 -

代表者名 大高健志

上場 未上場

資本金 -

設立 -

RSS

🔍 検索

キーワードで検索



📌 関連プレスリリース



2023年6月10日(土)・11日(日)開催「テイルズ オブ フェスティバル 2023」出演…
株式会社バンダイナムコエンターテインメント

🕒 1時間前



『ますみ・みさ・ひよりの Make Up Theater!』(田澤茉純さん、嘉山未紗さん、新…
株式会社アニメイトホールディングス

🕒 2時間前



長濱ねるさんが、約1年半ぶりに『bis』のカバーガールに！春ファッションで幸せオー…
株式会社光文社

🕒 2時間前



RADIO M4!!!! (濱野大輝さん・天崎滉平さん・永塚拓馬さん・市川太一さん)のイ…
株式会社アニメイトホールディングス

🕒 2時間前



村上龍、待望の最新長編小説『ユーチューバー』炎上必至の男の哲学！
株式会社 幻冬舎

🕒 2時間前

PR TIMESのご利用についてはこちら
資料ダウンロードする



オルタナティブスペースコア 代表(久保寛子、水野俊紀)

マユンキキ

音楽分野だけでなく国内外のアートフェスティバルにパフォーマンス参加することが多くなったとのこと。」と
なっていますが、元々アートフェスへのパフォーマンス参加は行って、多くなった、ということではないの
で、「音楽分野だけでなく国内外のアートフェスティバルにパフォーマンス参加もしている。一般に興味や認知が
広がる一方で、いまま差別などの問題は解消したわけではなく、昨今のアイヌを取り巻く環境は大変複雑になっ
ている。「『アイヌの代表』といわれることを避けている?」と林さんからの問いかけに「そこは気をつけている」
といつつ、逆に「あなたがアイヌだから選んだのではない」と過剰に気遣われるのも困るとその立場の難しさを
語った。



マユンキキ Photo by Hiroshi Ikeda

・「社会彫刻家」という言葉の重み

「社会彫刻家アワード」は今回が第一回ということで、受賞者側からも「なぜ自分が選ばれたのか?」という戸惑いもあったことが語られた。そこで林さんより審査の過程の一部が披露された。「そもそものボイスの社会彫刻の概念をたどると“社会彫刻家というプロフェッショナル”をつくるようなことになってはダメではないかという議論もあった。それでも敢えてアートをひとつのキッカケとして行動をしようとしている人を選ぼうということになった」

「社会彫刻」とは、ドイツのアーティスト、ヨーゼフ・ボイスが提唱した概念。芸術とは、絵画や彫刻、音楽などだけでなく教育活動、政治活動、環境保護活動、宗教なども含まれる、つまり意識的な人間の営みは芸術であるとして「すべての人間は芸術家である」と宣言し、今日のアーティストにも大きな影響を与えている。また選出されたけれど受賞を辞退した人もいたということが明かされ、それに対してオルタナティブスペースコアの久保さんは「社会彫刻家という言葉の重さでもあり、この賞の面白さ」と感想を述べた。調査選考委員による選出のプロ

・「誰に選ばれるか」が重要だった

当初、受賞辞退も考えたというマユンキキさんは、最終的に受賞を決めた。「選んでくれたのが飯田志保子さんだったということがある。飯田さんは自分が芸術祭に関わり始めた2015年くらいから知っていてくれて、そういわずと見てくれていた人から『マユンは日本における社会彫刻家だといっていいと思う』と言われたことが大きい。自分でも社会を彫刻するとはどういうことか考えてみようと思った。全然知らない人に言われていたら受けていない」と語った。



・「この三人で社会彫刻について考えられたら……」今後のさらなる“波紋”のひろがりへ希望

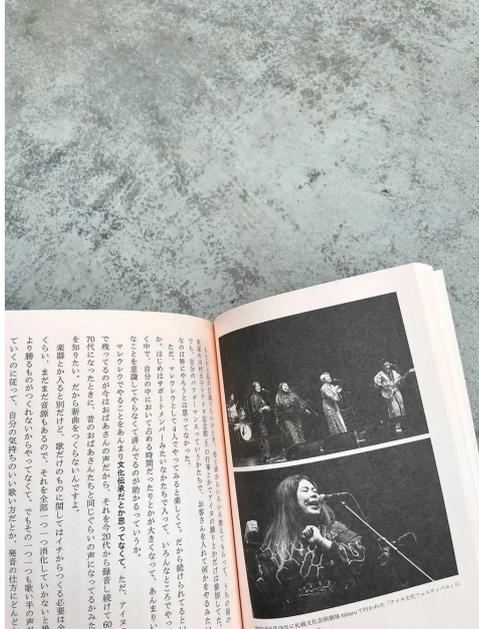
今回、三組の受賞者中、二組の受賞者が奇しくも広島から選出されたことについて、ひとり北海道選出のマユンキキさんからセッション中に何度も「いいな、羨ましいな」という発言があった。実際、オルタナティブスペースコアの久保さんとボーダレスアートスペース HAPの代表である木村さんは以前から交流があったとのこと。

「木村さんは広島の有名人で若いアーティストをいつも助けてくれるお母さんのような存在。私自身も学生のときに助けてもらった」とオルタナティブスペースコアの久保さんから広島での木村さんの功績を紹介し、さらに「私たちをつなげてくれたのは、Chim ↑ Pom。Chim ↑ Pomが広島でプロジェクトを開催したときにつながった」と今回の選考委員でもある卯城さんとの縁も披露した。

実は、受賞者三名が一か所に揃うのはこのトークセッションが初めて。2021年7月14日に行われた「社会彫刻家アワード 2021」の授賞式に木村さんは参加できず、今回は満を持しての機会だった。「広島同士ならいろいろと交流あるのかな。(一人離れた北海道で)私は寂しいなと思っていた。受賞者同士が話して、その後なにかに具体的なものつながった方が基金にとってもいいはず。もっとこの三人の仲が良くなる機会を作ってもらわない!」とマユンキキさんから社会彫刻基金運営事務局へ強いリクエストがあった。

林さんからは、今後も「社会彫刻家アワード」は続いて行く予定であることと、クラウドファンディングを通じて書籍『へそ』の制作資金の調達を支援した280名のコレクターたちと何かができるか、これから考えていきたいという考えが語られた。マユンキキさんから「私たちもそれに関わるの?」との問いに「関わってもらいますよ!」という林さんの答えに木村さん、久保さんも笑顔で頷いた。

トークセッションは終始和やか雰囲気ながらも、アーティスト同士の会話らしく率直なやりとりが交わされた。書籍『へそ』の編集コンセプトの「波紋」のように、社会彫刻という概念、アートを通じて社会に変化を創りだそうという試みが広がっていく希望が見えた濃い時間であった。書籍『へそ』は、全国の書店、Amazonにて購入することができる(取扱書店：<https://socialsculptor.tokyo/award2021>)。



• 書籍『へそ』

書籍タイトル: 『へそ』
编者: 社会彫刻家基金
発行日: 2022年6月5日
定価: 2,420円(本体2,200円)
寸法: w120 x h188mm/並製
頁数: 表紙4P+本文224P
発行部数: 2,000部
編集・構成・文: 桜井 祐(TISSUE Inc.)
ブックデザイン: 大西 隆介、沼本 明希子(direction Q)
写真: 池田 宏、丸尾 隆一
発行元: 株式会社MotionGallery
印刷: 株式会社ファビオ
取扱書店: 全国の書店、Amazon
詳細: <https://socialsculptor.tokyo/award2021>



• 書籍『へそ』目次

- はじめに
- 第一章 社会彫刻について知る
 - ・そもそも社会彫刻って何?

PR TIMESのご利用についてはこちら
資料ダウンロードする

第二章 社会彫刻家について考える

- ・鼎談 必要性の中から生まれ出づるもの—アワードを通して結ばれてきた社会彫刻家の像とは？ 卯城竜太×ヴィヴィアン佐藤×飯田志保子

エッセイ

- ・クラウドファンディング。あるいは社会を彫刻するデジタルな手段—大高健志

第三章 マユンキキを巡る

- ・インタビュー 「私を通して生まれるもの」 マユンキキ
- ・対話 何かを選ぶために何かを捨てる。

二者択一の息苦しさを抱えないために 飯田志保子×マユンキキ

- ・声々 まわりが見た社会彫刻家、その波紋
- ・寄稿 彼女たちの私的な空間を他者と共有するという行為について—原 万希子

エッセイ

- ・本書タイトル『へそ』は、ひょんなことから生まれた—菊池宏子

第四章 Alternative Space COREを巡る

- ・インタビュー 「つくりたいのは土壌。文化は勝手にできていく」 久保寛子+水野俊紀(Alternative Space CORE)
- ・インタビュー 「『療育』っていう言葉がずっとしっくりこなかった」 木村成代(ボーダレスアートスペースHAP)
- ・対話 アートだけで背負いきれないものと接続し、格闘する

卯城竜太×久保寛子(Alternative Space CORE)

- ・声々 まわりが見た社会彫刻家、その波紋
 - ・寄稿 オルタナティブ原論—オルタナティブ・スペースとは何か？—福住 廉
- ## 第五章 ボーダレスアートスペースHAPを巡る
- ・インタビュー 「『療育』っていう言葉がずっとしっくりこなかった」 木村成代(ボーダレスアートスペースHAP)
 - ・対話 福祉でもアートでもない。無我夢中の先に生まれた生態系 卯城竜太×木村成代(ボーダレスアートスペースHAP)
 - ・声々 まわりが見た社会彫刻家、その波紋
 - ・寄稿 「ルーズブレイス」が必要なのだ—アサダワタル

エッセイ

- ・個人の生を超える。触媒として社会彫刻—ヴィヴィアン佐藤

最後に・謝辞

熱源紀行—写真=池田 宏 文=林 暁甫

・ 社会彫刻家基金

社会彫刻家基金は、新型コロナウイルス拡散後の「新しい日常」において、アートを触媒に社会に 変化を創り出すアーティストを支援する基金です。新型コロナウイルスにより、私たち一人ひとりが生活/仕事/移動/コミュニケーション/コミュニティなど、生きる上で不可欠なことを根本から見つめ直す必要に迫られています。誰も答えを知らない「新しい日常」におけるアートの役割は、従来の「アート」という言葉の定義に捉われることなく、闇夜の中で光る灯台のように私たちが進むべき方向性を指し示すものであってほしい。そこで、私たちはヨーゼフ・ボイスが提唱した「社会彫刻」の概念を現在の状況下で再解釈しながら実践していくことこそが大切だと考えました。本基金は、こうした問題意識を元にアーティストを支援し、国内外に発信していきます。今社会の形が転換する大きな岐路に立っている中で、アートが社会に出来ることを本基金で後押しし、「新しい日常」の姿や未来の形を皆様と一緒に現して行ければと考えています。

・ 受賞者プロフィール

オルタナティブスペースコア /Alternative Space CORE

オルタナティブスペースコアとは、2017年7月基町ショッピングセンター内にオープンした、文化活動のための多目的スペースです。現代アートをはじめ、音楽や文学、料理、ファッション、言論、科学など様々なジャンルの文化を発信、共有する事を目的としています。2020年より隔月でブロックパーティーを開催。<http://alternativespacecore.blogspot.com>

ボーダレスアートスペース HAP / HIROSHIMA ART PLATFORM

ひとがアートと出会う場所「ギャラリーG」、子供がアートと過ごす場所として「ボーダレスアートスペースHAP」2つの目的「HIROSHIMA ART PLATFORM」(略して HAP)をつくりました。現代社会の様々な人々とのコミュニケーションを通して 閉鎖的になりがちなアートの世界が社会と応答しやすくなるような場づくりに没頭しながら、国内外作家のアートプロジェクトサポートから地域の作家の展示サポート、地元アーティストと障害のある子供たちとの創作活動(放課後デイサービス)、子供たちの作品を社会にコミットさせるアートグッズ制作など幅広く活動しています。<http://artspace-hap.com>

マユンキキ/Mayunkiki

1982年生まれ。北海道出身・在住。アイヌの伝統歌を歌う「マレウレウ」のメンバー。音楽分野だけでなく国内外のアートフェスティバルにパフォーマンス参加多数。アイヌ語講師、札幌国際芸術祭(SIAF)2017バンドメンバ

PR TIMESのご利用についてはこちら
資料ダウンロードする

ー(企画チーム)、SIAF 2020 ではアイヌ文化コーディネーターをつとめる。2018 年より、自身のルーツと美意識に纏わる興味・関心からアイヌの 伝統的な文身「シヌイエ」の研究を開始。現代におけるアイヌの存在を、あくまで個人としての観点から探求し、表現している。2020 年には、第 22 回シドニー・ビエンナーレ「NIRIN」に参加。同年、写真家の池田宏と「シヌイエアイヌ女性の 入墨を巡るプロジェクト」(北海道・白老)、その後の初めの個展として 2021 年「シンリッ アイヌ女性のルーツを探る出発展」(北海道・札幌、CAI03)を開催した。<http://www.tonkori.com>

・ 調査選考委員プロフィール

飯田 志保子

1998年の開館準備期から11年間東京オペラシティアートギャラリーに勤務。2009年から2011年までブリスベンのクイーンズランド州立美術館/現代美術館内の研究機関に客員キュレーターとして在籍。2014年から2018年まで東京 藝術大学准教授。アジア地域の現代美術、共同企画、芸術文化制度と社会の 関係に関心を持ち、ソウル、ニューデリー、ジャカルタ、豪州複数都市で共同企画を実践。



Photo by ToLoLo studio

卯城 竜太

Chim ↑ Pom from Smappa!Groupメンバー。Chim ↑ Pom from Smappa!Group は、2005年に東京で結成されたアーティストコレクティブ。時代のリアルを追究し、現代社会に全力で介入したメッセージの強い作品を次々と発表。世界中の展覧会に参加するだけでなく、自らもさまざまなプロジェクトを展開する。



ヴィヴィアン 佐藤

美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断して独自の見解で分析。作品制作発表のみならず、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評展開。サンミュージック提携タレント。大正大学客員教授。



◎ このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります。

メディアユーザー新規登録
無料

メディアユーザーログイン
既に登録済みの方はこちら

メディアユーザー登録を行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。
※内容はプレスリリースにより異なります。

プレスリリース > [株式会社MotionGallery](#) > 【Chim↑Pomメンバー、卯城竜太氏らが調査選考委員を務める『社会彫刻家基金』】「社会彫刻家」を紹介する書籍『へそ』を出版！記念イベントを開催 ※イベントレポート

 プレスリリースファイル

種類 [商品サービス](#)

ビジネスカテゴリ [雑誌・本・出版物](#) [アート・カルチャー](#)

キーワード [Chim↑Pom](#) [卯城竜太](#) [飯田 志保子](#) [ヴィヴィアン 佐藤](#) [へそ](#) [ボーダレスアーツスペース HAP](#) [マユンキキ](#) [社会彫刻家基金](#) [出版](#)

関連URL <https://socialsculptor.tokyo/award2021>

このプレスリリースをシェアする



プレスリリース素材ダウンロード

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます。

プレスリリース画像一覧



株式会社MotionGalleryのプレスリリース

もっと見る



短編映画が持つ新しい才能が育まれる可能性を拡げ、課題を解消するための新プログラム“Short Film

🕒 2023年2月15日 16時35分



【広島呉市発・地域活性化を目指す3つのクラウドファンディングがスタート】①クリスマスケーキは車で30

🕒 2023年2月3日 12時32分



【アニメ・邪神ちゃん、クラウドファンディング本日最終日！】参加者全員オンライン先行上映会にご招待

🕒 2023年1月13日 17時51分

ニュースリリース配信サービス

PR TIMESとは

料金・プラン

プレスリリースを受信したい方へ

プレスリリースを配信したい方へ

ものしりプロジェクト

ログイン

レコメンドサービス

PR TIMES STORY

無料FAQならTayori

無料メールフォームならTayori

タスク・プロジェクト管理ツールのJooto

PR TIMES TV

PR TIMES LIVE

PR TIMES MAGAZINE

クリッピング

広告ならPR EDGE

無料占い・今週の運勢ならisuta

無料恋愛占いならisuta

PR TIMES公式SNS

公式Facebookページ

Facebookカテゴリ

公式Twitterページ

Twitterカテゴリ